

平成 22 年度  
八尾市産業振興会議報告書  
～ 資 料 集 ～

平成 23 年 3 月

八尾市産業振興会議

## 資料一覧

### (ものづくり関連施策)

資料 1	ものづくり集積促進奨励金	1
資料 2	中小企業サポートセンター事業	2
資料 3	企業情報データベース化事業（八尾ものづくりネット）	4
資料 4	異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業	5
資料 5	ビジネスマッチング博（産業博）	6
資料 6	工場立地現況等調査事業	7

### (商業関連施策)

資料 7	地域資源活用モデル商品開発事業	8
資料 8	商業ネットワーク化支援事業（八尾あきんど On-Do ネット）	9
資料 9	提案公募型八尾市商業まちづくり推進事業	10
資料 10	地域商業活性化事業補助金	12
資料 11	八尾商業まつり・商店街等にぎわい創出事業	13
資料 12	地域通貨活用による地域活性化促進事業	15

### (その他施策)

資料 13	商工振興拠点施設整備促進事業	16
-------	----------------	----

## ものづくり集積促進奨励金

### 【制度創設】

平成19年10月1日

### 【事業目的】

市内産業集積の維持発展のために、製造業者の市内での工場等の設置に対し奨励措置を講じることにより、本市での工場等の立地を促進し、また工業生産施設が集積する地域での円滑な生産活動を確保することにより、雇用の創出、産業振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

### 【対象事業 等】

[対象者] 製造業を営む者

[対象事業] 延床面積500㎡以上の工場等の建築又は購入

[対象地域] 工業専用地域、工業地域、準工業地域

[対象資産] 工場等を建築又は購入するにあたって投資した土地、建物、償却資産のうち機械装置

[奨励金額] 対象資産にかかる固定資産税、都市計画税の1/2以内

[交付期間] 5年以内

### 【指定事業数】

年度	指定件数	備考
平成19年度	13件	うち市外企業4件、市有地購入企業3件
平成20年度	11件	うち市外企業1件
平成21年度	6件	
平成22年度*	8件	うち市外企業4件
創設からの累計	38件	

\*平成22年2月末現在

### 【交付件数実績】

年度	交付件数	備考
平成20年度	1件	
平成21年度	9件	平成21年度新規交付事業者8件
平成22年度	19件	平成22年度新規交付事業者10件
平成23年度	30件(見込み)	平成23年度新規交付事業者11件(見込み)

## 中小企業サポートセンター事業

### —事業概要—

中小製造業の研究・技術開発、製品開発、経営革新、人材確保・育成などの相談窓口を設置し、大学・公的支援機関への橋渡し、公的支援制度の紹介や企業間連携を図りながら、専門のコーディネータによる相談・アドバイスを行った。また、技術・経営の高度化のためのセミナーの開催や研究会活動、産学官連携事業を行うとともに、具体的なニーズをもとにしたビジネスマッチング支援等を行った。

### 1. 相談事業

#### (1) 専門のコーディネータによる相談・アドバイス

相談総数 1,032件（平成22年度）

（※平成19年度 1,296件、平成20年度 1,700件、平成21年度 1,090件）

#### 【相談内容等】

加工技術や製品開発に関する相談、公的支援制度認定申請に関する相談、工場管理に関する相談、人材確保・育成に関する相談、特許相談（専門相談員）などを行なった。

企業現場のニーズにあったアドバイスができるように、企業訪問を重視。国・府や大学等の関係機関への橋渡し等により、課題解決につなげた。

#### (2) 国・府による支援事業の採択・認定等のサポート

相談業務を通じて、公的支援制度・事業の情報提供や、事業認定や承認に関するアドバイスをを行った。

#### (3) ビジネスマッチング支援

ビジネスマッチング支援のより一層の充実を図るため、ノウハウを有する専門コーディネーターを増員し強化を図るとともに、公的機関等（国、府、けいはんな等）が開催する展示会・マッチング会を通じて、市内中小企業の技術のマッチング支援を行った。

### 2. セミナー開催事業

3回開催 38社 48名参加

#### (1) 新事業展開研究会セミナー

2回開催 17社 23名参加

#### 【内容】

市内中小企業が新産業・新分野への進出を図るうえでの課題について検討し、その解決に向けたセミナーを開催した。

#### (2) 経営革新セミナー

1回開催 21社 25名参加

#### 【内容】

経営者を対象に、中小企業の経営理念・目的の明確化、組織風土・職場環境の改革、人材

確保・育成の課題について検討し、その解決に向けた経営革新の意義についてのセミナーを開催した。

### 3. 産学連携・研究会活動事業 その他

#### 1) 研究会活動

「八尾バリテック研究会」 5回開催 108社170名参加

加工業のバリの課題解決のための研究会を開催。関西大学との産学連携を軸に展開。

平成 20 年度より自主的運営を行い、平成22年度は、26社4団体で開催。関西大学の北嶋教授の指導の下、会員企業の工場見学などを実施し、現場で課題解決についての検討を行った。

#### 2) その他の産学官連携事業

##### (1) 国立奈良工業高等専門学校との産学連携

市内製造業の生産の高付加価値化に向けての人材育成の一助のため、「組み込みシステム技術者養成講座」への参加呼びかけとフォローを実施した。

##### (2) その他 市内企業と大学等との共同研究を支援

#### 3) 人材確保・育成事業

##### (1) 工科高校との連携事業

###### 【内容】

布施工科高校や今宮工科高校との連携事業を進めた。

①布施工科高校「出前授業」における講師紹介 市内企業2社

②今宮工科高校インターンシップ受入協力企業の確保 市内企業 2社

③布施工科高校PTA主催による企業見学会支援 市内企業3社 など

##### (2) 新卒者採用支援

製造業の経営・技術の高度化を担う人材を確保するために、大学や工科高校、雇用能力開発機構、府下の高等職業技術専門学校との連携を図り、企業に対して校内企業説明会の開催案内などの情報提供を行った。

## 「ものづくりのまち・八尾」ブランド化推進事業 (企業情報データベース化事業)

1. 事業目的
 

八尾市内企業の詳細なデータを行政情報として保有することで、市内企業の経営課題や経営実態を十分に踏まえた適切な行政施策を展開する。

また、企業情報をインターネットで情報発信を行なうとともに自由に検索できる仕組みづくりを行なうことにより、新製品の開発や取引の拡大など、市域企業の経営に役立てる。
2. 事業内容
 

平成14年7月より「八尾市企業情報データベース」に加えて、新たに「ものづくり見本市」というビジュアルサイトを立ち上げ、「異業種交流データベース」とともに製造業ポータルサイト「八尾ものづくりネット」として情報発信を開始。

平成21年度に、「八尾市企業情報データベース」の再構築を含め、「八尾ものづくりネット」のリニューアルを実施。平成22年度は、英語版データベースの構築と新たな企業魅力発信コンテンツの掲載を行った。
3. 対象事業者
 

市内製造業の事業所が対象。
4. 事業経過
 

平成10年度：対象となる全事業所の調査、システム開発。

平成11年度：登録事業所のうち、公開情報をホームページで発信を開始。

平成12年度：未登録全事業所への訪問による加入依頼。約360社が新たに登録。  
異業種交流グループの調査とシステム設計。

平成13年度：異業種交流グループデータベースのネットによる発信を開始。  
ものづくり見本市(事業名:高度企業交流システム)のシステム開発と調査。

平成14年度：ものづくり見本市(ビジュアルデータベース)の発信。

平成15年度：掲示板機能追加

平成16年度：新製品・新技術紹介、空き工場・空き工場用地情報の紹介サイトの項目追加。八尾の製造業の英語での紹介、ホームページのリニューアル

平成21年度：「八尾ものづくりネット」を全面リニューアル

平成22年度：「八尾ものづくりネット」に英語版データベースを構築。  
また、新コンテンツ「八尾を拠点に頑張るものづくり企業」を掲載
5. コンテンツ別登録事業所数等（平成23年3月31日現在）
 

製造業者 951社
6. アクセス件数
 

アクセス件数(単年度累計)	(23年3月末現在)	228,576件
---------------	------------	----------

## 異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業

### ○事業概要

「ものづくりのまち・八尾」のブランド化を推進するような新製品や新技術の研究開発を行う事業に要する経費の一部を助成する。

#### ・補助対象

製造業事業者(中小企業)で組織する協同組合、研究会、グループ等でその構成員のうち2分の1以上が八尾市内に主たる事業所または支店等を有すること。

#### ・補助率及び補助金の額

補助対象経費の2分の1以内で1事業あたり1,000,000円を限度とする。

### ○趣旨・目的

異業種グループ等の新技術・新製品の開発に対し助成するもので、八尾市企業のPRや「ものづくりのまち・八尾」のブランド化推進に資することを目的とする。

### ○平成22年度実績

申 請	6件	計	4,660,000円
採 択	1件	計	510,000円

## ビジネスマッチング博（産業博）

名 称	ビジネスマッチング博2010(八尾市産業博)
開催趣旨	ビジネスチャンスの発見と獲得、人脈の拡大、異業種交流の推進、 販路の拡大、より良い情報の収集
会 期	第一日目 平成22年10月14日(木) 午前10時～午後5時 第二日目 平成22年10月15日(金) 午前10時～午後4時
会 場	マイドームおおさか 1階展示場 大阪府中央区本町橋2-5
主 催	八尾市産業博開催実行委員会 (八尾市、八尾商工会議所、大阪東信用金庫)
後 援	近畿経済産業局、大阪府、財団法人 大阪産業振興機構
協 賛	財団法人 日本中小企業福祉事業財団(日本フルハップ)
出展企業	75社・団体
小 間 数	87小間
来場者数	7,055名
引合件数	4,600件



## 工場立地現況等調査事業

## 【事業目的】

市内製造業事業者の良好な操業環境の確保および市民の生活環境保全の観点から、市内の工業集積の現状を把握し、住工混在問題対策をはじめとした工場立地関連施策の検討のための基礎資料を作成する。

## 【事業概要】

市内の工業系用途地域（準工業地域、工業地域、工業専用地域）において操業している製造業事業所および空き地・空き施設等の現況について、現地確認を行うとともに、操業環境等に関するアンケート調査を実施。製造業事業所等の分布状況を示す電子地図の作成及び調査結果の分析を行った。

## 【調査確認状況】

・ A 製造業（本社）	2,260 件
・ B 製造業（本社以外の事業所）	748 件
・ C 他業種	1,580 件
・ D 空き施設	915 件
・ E 空き地	105 件
・ F 確認件数（A～E 合計）	5,608 件
・ G 調査対象件数（A+B）	3,008 件
・ H 調査票回収数	1,014 件
・ I 調査票回収率（H/G）	33.7%

## 地域資源活用モデル商品開発事業

### ○事業概要

八尾市の地域資源を活用した商品（試作品）の開発（企画提案型公募委託事業）。

### ○趣旨・目的

地域資源を活用した新商品開発による、本市の地域資源の内外での認知度向上及び、それらを活用した地域産業の活性化。

### ○採択案件（3件）

#### ・「紅たでせんべい」

採択事業者：有限会社 三好商店

商品概要：特産品としての知名度が低く、活用方法もあまりなかった紅たでを手軽に味わってもらえるよう開発された商品。温風乾燥した紅たでを使いせんべいにするすることで、新鮮なものでしか味わうことのできない紅たで本来の辛みが残った商品となっている。



#### ・「若ちゃんにぎり」

採択事業者：有限会社 三好商店

商品概要：若ごぼうの葉で若ごぼうの佃煮入りのおにぎりを包んだ商品。刈り取り捨てられることの多い若ごぼうの葉を有効活用し、若ごぼうの全てを味わうことのできる商品となっている。



#### ・「若ごぼうの葉入りスイーツ」

採択事業者：有限会社 三好商店

商品概要：若ごぼうの葉と茎の部分を細かく刻みカステラの生地に練り込んだ商品。「若ちゃんにぎり」と同様、若ごぼうをふんだんに活用した商品となっている。

### ○開発商品の活用

- ・地域資源を活用したモデル商品「紅たでせんべい」（試作品）をダイヤモンド大学において、試食・アンケートの実施・パネル展示を行った。（平成23年2月19日）
- ・今後も、イベントや市関連施設で試食・パネル展示することにより、本市地域資源の普及啓発のツールとして活用していく。



## 商業ネットワーク化支援事業

(八尾あきんど On-Do ネット)

1. **事業目的** 商業者と消費者および行政をつなぐ情報基盤を整備することで、市内及び周辺地域からの市民の購買機会や交流機会を促進し、地域活性化を図る。
2. **事業内容** 商業者の登録データを一元管理し、インターネットにより個店情報を発信することで、地域の消費者の利便性向上と個店の振興を図る。
3. **対象事業所** 市内に店舗を有する小売・卸売・飲食・サービス業の事業所のうち、市が対象と認めるもの。

### 4. 事業経過

年度	事業内容
平成13年度	登録に関する意向調査、システム構築など
平成14年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新 ※7月14日発信開始
平成15年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新 バーチャルモールの設置
平成16年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新
平成17年度	企画選定方式により委託業者を募集し、NPO法人に決定する。 サーバー保守、新規登録及び情報更新以外に、トップ・ページのリニューアルを実施する。
平成18年度	新規コンテンツとして、「うまいで！食べてや！！八尾特産物」を設置する。
平成19年度	全登録事業所に情報更新を依頼する。サイト上で、消費者向けアンケートを実施する。
平成20年度	新規コンテンツとして、「商店街・市場マップ」、「マンスリーこれどやっ！」を設置する。ロゴ入りステッカーを制作し、登録事業所に配布する。
平成21年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新以外に、トップ・ページ及び個店ページのリニューアルを実施する。
平成22年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新以外に、トップ・ページに移動したイベントカレンダーの充実を行う。

### 5. 平成22年度実績

登録事業所数	1, 035件 (平成23年3月)
月間平均アクセス数	29, 871件 (平成22年4月～平成23年3月)
月間最高アクセス数	38, 480件 (平成23年3月)

## 提案公募型八尾市商業まちづくり推進事業

1. **事業目的** 地域商業をまちづくりに積極的に活用し、その社会的有効性及び存在価値を高めることで、“商業とまちの活性化”を推進する。

2. **事業内容** 提案のあった取組みを、地域商業活性化アドバイザー等から成る審査会により選定し、市費による委託事業として実施。当委託事業により、商店街、小売市場等の先進的な取組みを財政面から支援するとともに地域商業活性化アドバイザーの助言・指導をあわせて行うことで、他団体のモデルとなり得る事業を推進し、“商業とまちの活性化”を図る。  
 なお、大阪府（大阪府商業活性化総合補助金）より八尾市地域商業活性化アドバイザーの謝礼を含め、4分の1の補助を受けている。

3. **委託先** 1件（八尾市商業協同組合）

### 4. 委託内容

○八尾市商業協同組合 『空き店舗の有効活用事業』

#### 【達成目標】

商店街内の空き店舗を活用し、子育て支援施設、高齢者の集える場、市民活動の拠点等の住民コミュニティ拠点施設の誘致・設置を行うことで、商店街の空き店舗を一つでもオープンさせるとともに、新規を含む来街者の増加をめざす。また、年々増加する空き店舗について、抜本的な対策を行う手法を検討する。

#### 【アドバイザーの助言・指導】

目標達成のため、空き店舗を住民コミュニティ拠点として活用する目的を明確にした上で、商店街の活性化に繋げる方法、家主さん会議を開催する等、空き店舗の確保や組合員の協力関係の構築について助言をいただいた。また、今後も、空き店舗を解消し、商店街の活性化に繋げる取組みを継続的に推し進めるために、商店街としての目標や実施予定事業を明確にした商店街ビジョン・プラン策定に向けた助言・指導をいただいた。

- ・ 事業の目的、実施方法等についての説明・助言
- ・ 先進事例を用いた空き店舗対策と商店街活性化のための勉強会の開催
- ・ 実行性のある空き店舗対策のための提案・意見交換
- ・ 住民コミュニティ拠点事業の内容検討・助言
- ・ 家主さん会議にて勉強会の開催
- ・ 住民コミュニティ利用者に商店街をPRする方法について助言・指導
- ・ 空き店舗の有効活用事業を含む商店街活性化ビジョン・プランの作成について

## 【取り組み内容】

- ① 子育て支援施設『ファミらんど』の設置(空き店舗の確保・地権者との賃貸借契約の締結、空き店舗のリフォーム等の施設整備等)
- ② 子育て支援施設『ファミらんど』の利用者を選定(一般公募、市民活動団体との使用貸借契約の締結等)、施設の管理・運営及び施設内での事業実施に係る支援。
- ③ 子育て支援施設『ファミらんど』利用者への商店街組合員店舗PR広告の作成。
- ④ 空き店舗確保・解消に向けた取り組み(空き店舗の確保及び商店街として空き店舗対策を行う意識を喚起するための会議開催、空き店舗解消に向けた手法等の検討、商店街ビジョン・プランの策定)

## 【成果報告】

商店街内空き店舗の地権者の協力を得て、子育て支援施設『ファミらんど』を12月に開設した。開設までには賃貸借契約、空き店舗の改修、住民コミュニティ施設としての整備、利用者公募等を行い、空き店舗をオープンさせるまでのノウハウを得ることができた。

また市内で子育て支援を行う市民活動団体(WAKKA-GONBO)に無料提供し、市民活動団体が行う事業(市内で子育てを行う親と子および子育て支援活動を行う個人・団体等への貸し部屋事業)や施設管理・運営への支援を行うことにより、ファミらんどが子育て支援の場として定着し、来街者増加に繋げることをめざしてきた。貸し部屋事業については2月より開始し、その利用日数は15日と開始月は未だ僅かではあったが、3月4日に開催した子育て支援イベントでは親子29人が参加し、商店街に一定の賑わいをもたらした。

この日の読売新聞朝刊にて、ファミリーロードの空き店舗事業等が紹介され、今年度中にDESSEへの記事掲載、市内子育てサークルへの事業案内送付等の広報を予定しており、利用者増が期待される。

今後は、市民活動団体との協力関係をより強め、施設利用者増を図るとともに、商店街組合員の意識を喚起し、施設利用者には商店街の特徴や店舗の良さ(売り)を伝えることが必要である。これに対しては、FMちゃおの協力の下、全組合員店舗を訪問取材し、各店舗PR広告を作成しており、施設内の「お店情報掲示板」に掲示するとともに、組合員が施設利用者へに随時情報を発信する取り組みを開始している。

また、住民コミュニティ拠点事業としての取り組みに加え、複数の空き店舗を確保・活用し、空き店舗を抜本的に解消するために、10月に家主さん会議を開催。20人の参加があり、商店街における空き店舗活用の趣旨・方向性を伝えることができ、今後、空き店舗確保に向けて、地権者と話し合う契機となった。空き店舗活用事業を含む、今後の商店街の活性化への取り組みを継続的に行うために、組合員の現況・意向、地域需要を把握した上で目標を定め、そのために必要な事業を実施する体制等、次年度以降の事業展開を検討しており、3月末に商店街ビジョン書策定をめざしている。

## 地域商業活性化事業補助金

1. 事業目的 商店街や小売市場等が地域社会に向けて行う活性化事業に対し、その事業に要した費用の一部を補助することで、商業団体の発展と住民福祉の向上に寄与する。

2. 事業内容 商業団体が行うソフト事業について、市よりその経費の2分の1を補助する。（補助上限額：1団体あたり年間54万円まで）

### 3. 平成22年度実績（14件） 見込

事業実施団体	事業名 及び 事業内容
1 JR 八尾駅前商業協同組合	ふれあい昔遊び 子供会、女性会、青年団や NPO 法人等ボランティアの協力により、昔から受け継がれてきた遊びを再現。伝統的な遊びの継承に貢献するとともに、地域内外の子どもと大人のふれあいを図り、安心・安全のまちづくりに寄与した。
2	花いっぱい運動と声かけ運動 商店街内に花を飾り、域内の環境美化活動を行うとともに地域ボランティア等との協働で駅前花壇にて綿の植え込み整備・収穫・糸くりを行った。
3 新栄商店会	ふれあいまちづくり カラオケ大会 地域消費者との交流を深めるため、アリオ八尾の舞台を借りて、カラオケ大会を開催した。
4	ふれあいまちづくり 餅つき大会 地域消費者との交流を深めるため、桂青少年会館にて餅つき大会を開催した。
5 高安駅西整備振興会	ふれあいまつりと美化作戦 高安駅西地区ふれあいまつりと美化作戦を開催し、住民とふれあうことで、地域の活性化に寄与した。
6	防犯キャンペーンとクリスマスのイルミネーション 高安駅前交番隣にクリスマスのイルミネーションを設置するとともに、八尾警察署、自治推進課等の協力を得ながら、ひたくり防止カバーを配布した。
7 ペントモール八尾協同組合	商業活性化事業 例年事業のガラガラ抽選会やチビッコ縁日等のほかに、毎月第4土曜日に、1日から合計金額3千円以上で1回利用できる「ギュギュっと詰め放題」を実施した。
8 八尾市商業協同組合	わんぱくちびっ子カーニバル 商店主が模擬店を出店し、地域の子ども達を招待。併せて、八尾警察署と八尾市消防本部の協力を得て、交通安全キャンペーン、防火キャンペーンを実施した。
9	お速夜市イベント 伝統あるお速夜市を復興させるため、毎月11日、27日に「お速夜市セール」を開催し、セールの開催にあわせて付近の寺社と連携した「はがき供養」を行った。
10 山本商店街振興組合	花いっぱい運動とコンサート 顧客満足度の向上及び新規顧客獲得のために、山本コミセンでコンサートを開催するとともに、商店街会員に鉢植えを配付し、商店街全体を花で飾った。
11 山本南商店街振興組合	ふれあいイベント 夏まつり夜店 地域住民や商店街の買い物客を対象とした夜店まつりを開催。模擬店、ゲームコーナー等を設け地域交流と商店街の活性化を図った。
12	女子プロレスラーと餅つき大会 女子プロレスによる餅つきの実演と記念撮影を行い地域住民と交流を図った。
13 北本町中央通商店会	商店会 PR 紙の制作事業 加盟店舗紹介ガイドブックを作成し、商店街周辺住民に配布し、PR 活動を行った。
14 八尾小売市場連合会	ゆるキャラ制作 地域資源をモチーフにした「ゆるキャラ」原案を地元小中学校の協力のもと地域住民に募集し、決定。着ぐるみを制作した。

## 八尾商業まつり・商店街等にぎわい創出事業 (八尾商工会議所との共同事業)

### ◆八尾商業まつり

1. **事業概要** 商店街、小売市場等の商店や単独店等の参加を募り、八尾市、八尾商工会議所と参加店が協力し、一定期間内に参加店で買物をした場合、お買い上げ金額に応じて、抽選券(スクラッチカード)を進呈。当選は参加店で使用できる100円金券。更に、Wチャンスとして、抽選券の連番により電動アシスト付自転車、ミニラップが当たる事業を実施。
2. **実施期間** 平成22年7月15日～平成22年7月31日
3. **参加店舗数** 633店舗
4. **抽選券発行枚数** 416,000枚(スクラッチ方式)

### ◆商店街等にぎわい創出事業

- ◇**目的** 八尾市・八尾商工会議所・商業団体(商店会連合会、小売市場連合会)が一体となって、集団での共同経済事業、集積地での地域貢献活動を実施し、商業者による地域への還元と貢献を促進し、商業集積地ににぎわいをもたらす。(但し、21年度は商連・市連合同で事業実施。)
- ◇**経過** 以前は、職業体験情報誌や商業情報誌の発行事業を行っていたが、平成21年度より「商店街等にぎわい創出事業」(但し、21年度は商店街等活性化事業)として連合会組織での共同チラシの作成(情報発信)や地域貢献色の強い事業を負担金事業にて実施。

### 商店街スタンプラリー【八尾市商店会連合会】

1. **事業概要** 八尾市商店会連合会加盟店でお買い物をして、スタンプを集めると、スタンプの数に応じて地域通貨「フレ」(500フレ～3万フレ)が抽選で当たる事業を実施。
2. **実施期間** スタンプラリー：平成22年 7月15日(木)～10月31日(日)  
 当選発表：平成22年11月25日(木)午前11時～  
 (第3回八尾あきんどまつりにて発表)  
 地域通貨フレの受渡：平成22年11月25日(木)～12月10日(金)  
 (受付店舗の店頭にて)

### 第3回八尾あきんどまつり【八尾市商店会連合会】

1. 事業概要
- ①共同チラシの製作 <情報発信>  
八尾市商店会連合会共同で、各団体のPRチラシを作成。  
・B3版、両面、3色刷り、新聞折込み
  - ②エコバッグ持参キャンペーンの実施 <地域への貢献>  
エコバッグを持参した消費者に対して、各商店街で使える商品券（500円）  
が当たる抽選会を実施。 商品券の有効期限：12月31日（金）  
（あきんどエコバッグ持参者は2回、その他のエコバッグ持参者は1回）
  - ③連合会組織による販促事業 <組織力の強化、地域への還元>
- 上記の3事業を「第3回八尾あきんどまつり」として実施。  
同時に「商店街スタンプラリー」のフレ 당선者の発表を行った。

2. 実施日 平成22年11月25日（木）

### 宅配サービス事業の実施及び研究事業【八尾小売市場連合会】 <買物弱者対策>

1. 事業概要
- ①ラクラク配達隊（宅配サービス）の実施  
高齢者など、地域住民が利用しやすい 生活しやすいまちづくりのため、八尾市  
小売市場連合会による期間限定の宅配サービス事業の実施。  
・買物代行ではなく、各市場でお買物された方の手荷物を配達する。
  - ②共同ちらしの製作  
らくらく配達隊（宅配サービス）事業実施のPRチラシを作成。  
・A4版、片面、4色刷り、ハンドビラ  
・11月22日（月）頃から各市場にて配布開始
  - ③宅配事業に関するアンケートの実施及び分析  
宅配事業に関するアンケートを実施し、今後の宅配事業展開の資料として活用。  
・アンケートの対象は、ラクラク配達隊利用者のみ。  
・アンケート回答者に対し、粗品を進呈。

### 2. 実施期間

ラクラク配達隊：平成22年12月1日（木）～12月30日（水）  
アンケート：平成22年12月1日（木）～12月20日（月）



## 地域通貨活用による地域活性化促進事業

### 1. 目的

地域通貨を活用して、市民団体や企業、教育等の機関と連携し、人と人との繋がりを強めることにより地域社会の発展、さらに、中小商業の活性化を図る。

### 2. 事業概要

地域通貨を普及促進するため、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、関係団体等との連携に向けた調整や広報活動等を行う。

### 3. 発行元

特定非営利活動法人八尾市生き生き会議（以下、「生き生き会議」という。）

### 4. 発行額

平成22年度 1,504千円（平成23年3月31日現在）

### 5. 発行場所

生き生き会議 事務所

### 6. 地域通貨の名称、発行形態

地域通貨の名称は「フレ」で、100フレ、500フレの2種類の紙幣を発行（1フレ＝1円換算）

### 7. 有効期限

発行日から6ヶ月

### 8. 使用可能店舗数

市内13商店街と個店を併せ365店（平成22年3月31日現在）

### 9. 主な事業

地域通貨活用イベントでの実証実験や活用団体の開拓と情報収集、地域通貨説明会、地域通貨サロンの開催、地域通貨情報誌の発行など

## 商工振興拠点施設整備促進事業

### 【事業概要】

八尾商工会議所の移転・建替えや八尾市の産業を取り巻く課題や事業者のニーズの変化などの社会経済状況を踏まえ、「商工振興支援の拠点づくりに関する基本合意」(平成21年2月5日締結)に基づき、八尾市立中小企業サポートセンター及び八尾商工会議所新会館を建設する。

### 【事業目的】

新たな産業政策の立案、新産業・新技術等育成、各種相談・支援、市民・事業者・NPO等との連携による産業振興、既存事業の統合・効率化

### 【施設概要】

- ・建築場所 旧教育センター敷地
- ・敷地面積 2,503.75㎡
- ・規模 地上3階、塔屋1階
- ・延床面積 3,710.97㎡
 

八尾商工会議所所有分	1,852.37㎡	}
八尾市所有分	707.97㎡	
共有部分	1,150.63㎡	
- ・施設内容 八尾商工会議所  
八尾市産業政策課、農業委員会事務局  
八尾市立中小企業サポートセンター(支援室・交流サロン、インキュベートルーム、セミナールーム、多目的室)等

### 【本年度の主な取り組み】

- ・文化財発掘調査(八尾商工会議所)
- ・建築工事等請負契約締結(八尾商工会議所⇄工事業者)
- ・商工振興拠点施設の整備にかかる建築工事等の費用負担に関する協定書締結  
(八尾市⇄八尾商工会議所)
- ・「八尾商工会議所新会館等建設」建築監理業務の費用負担に関する協定書締結  
(八尾市⇄八尾商工会議所)

### 【平成23年度の主な予定】

- ・竣工(4月20日)、開設(5月2日)